

# 令和7年度職員提案検討報告書

## 1 実施に向け取り組むもの 6件

1 実施に向け取り組むもの 6件  
2 引き続き検討するもの 16件  
3 実施済み又は実施しないもの 10件  
計30件

資料5－3

No.	提案項目	現状・課題	提案内容・実施効果	検討・対応課	評価の理由等
1	せっかく作った市のPR動画、もっと流しませんか？	<p><b>【現状】</b> 市民課には数年前から待合スペースにモニターがあり、主に手続き関係の映像（静止画）が流されている。 また、市民生活課前のスペースにもモニターがあり、R-1とのコラボ映像が流されている。 砺波市HPには過去に制作された、砺波市や市の事業をPRする動画が複数ある。 (参考)「チョイソコとなみ」、「砺波の『砺』の字のエトセトラ～正しい『砺』の字はこれだ！～(前編)」、砺波市の『魅力PR映像』</p> <p><b>【課題】</b> 市民課のモニターは、待ち時間に眺めている人もいるが、現在は手続きに関する文章（静止画）が表示されており、あまり注目を集められているとはいえない。 市民課では過去に待ち時間の暇つぶしのために、間違い探しやクイズ付きの番号札を作成・使用し、好評を得ていたが、コロナ対策のため使い回しの番号札の使用を取りやめている。 また、砺波市HPに掲載の動画はいずれも再生回数が数百～数千回となっており、せっかくの素晴らしい動画であっても見られておらず、もったいない。</p>	<p><b>【提案内容】</b> 市民課・市民生活課前のモニターで、現在再生されている動画・静止画に追加する形で既存の市のPR動画を流す。また、市のYouTubeにつながる二次元コードを表示させる。</p> <p><b>【実施効果】</b> 手続きに来庁した市民や他市の方々が市のPR動画を見ることで、砺波市の魅力や事業について知ることができるうえ、待ち時間の負担感の軽減につながる。また、市のYouTubeの認知度アップにつながる。</p>	企画政策課	<p>モニターへの放映要件等を確認したうえで、PR動画をどのような形で放映することが適切か検討のこと。 なお、市民課前のモニターは長時間のイメージビデオ等より、広報となみのお知らせ欄の内容を伝える文字放送のようなものが適切と考えられるため、このようなPRについて検討のこと。</p>
2	見える！伝わる！情報発信！	<p><b>【現状】</b> 市が管轄しているポスターやチラシの設置場所が市職員全体に共有されておらず、最大限に活用できていない。</p> <p><b>【課題】</b> 一つの課が管轄している掲示場所は時期によっては掲示するものが少なく、空きがある点。</p>	<p><b>【提案内容】</b> ポスターやチラシを掲示、設置できる場所と所管課を一覧にまとめる。できれば、ポスターについては設備・備品予約で管理し、情報共有する。また併せて効果的な周知方法（図書館の貸出票の裏面の活用やWEB広告など）を職員から意見を収集し一覧にまとめ、職員の情報発信力をアップさせるもの。</p> <p><b>【実施効果】</b> 市全体で周知方法を情報共有することで、市各課の事業を効果的に広く多くの市民へ周知することができる。</p>	企画政策課 総務課	<p>原則ポスターの掲示場所は限定しており、適切な管理のため、申請・許可により期限を区切って対応しているが、庁舎内において効果的に情報発信できる場所を精査のうえ、設置箇所の一覧を作成のこと。 また、庁舎内の掲示等以外の方法による情報発信の推進をどのように図っていくか検討のこと。</p>
3	市刊行物の見える化プロジェクト	<p><b>【現状】</b> 各課で発行する刊行物を全職員が把握できていない。</p> <p><b>【課題】</b> 職員が各課の刊行物を把握できていないと、刊行物の内容の重複の可能性があったり、他課の資料を案内できない、活用される機会が少なく残ってしまう、といった問題が発生している可能性がある。</p>	<p><b>【提案内容】</b> 各課での刊行物を一覧にまとめる。できればデジタル版も作成し、紙での発行数を減らす。</p> <p><b>【実施効果】</b> 全職員が市の刊行物の内容を把握することで、情報の重複を減らしたり、関連する内容を1冊にまとめて発行することができる。 また、刊行物のデジタル版を作成すれば、ポスターやチラシに二次元コードを掲載することで、より多くの市民に情報を効率的に届けることができる。</p>	企画政策課 砺波図書館	<p>職員に対しては砺波図書館で実施している刊行物実態調査の結果をNIコラボ等で周知し、重複した部分等について見直しも検討のこと。 市民に対する情報発信の方法については、別途検討のこと。</p>
	その他3件（市役所内部の事務改善提案等）				

# 令和7年度職員提案検討報告書

## 2 引き続き検討するもの 16件

1 実施に向け取り組むもの	6件
2 引き続き検討するもの	16件
3 実施済み又は実施しないもの	10件
計30件	

資料5－3

No.	提案項目	現状・課題	提案内容・実施効果	検討・対応課	評価の理由等
1	砺波図書館マスコットキャラクターのLINEスタンプ化	<p><b>【現状】</b> 砺波市の規模では、図書館の図書購入費に割ける予算には限りがある。また、市外の方へのPRが足りないように感じる。</p> <p><b>【課題】</b> 多くの新しい図書を購入でき、市民の方、そして市外の方にも愛される砺波図書館をつくる必要がある。</p>	<p><b>【提案内容】</b> 砺波図書館には、いたるところにネコのキャラクターがいる。とても可愛らしいこのキャラクターを、LINEスタンプにして収益化してはどうか。また、その収益で本を購入し、コーナーを作る。</p> <p><b>【実施効果】</b> 砺波図書館と砺波市を市内外の方へPRできるとともに、図書購入のための費用を得ることができる。チューリくんとリップちゃんは市外の方には送りにくい印象だが、ネコであれば市外の方にも送りやすく、より広い対象へのPRが可能。</p>	砺波図書館	職員の事務負担や費用対効果を考慮のうえ、今後検討のこと。
2	ファミリーサポートのバリアフリー化（もっと気軽に利用・協力してもらえる制度へ）	<p><b>【現状】</b> ファミリーサポートは、子育て中の家庭を助けてほしい側・助けたい側のマッチングにより成り立つ取組みです。 私も第二子が生まれた際、冬期間の第一子の子ども園までの送迎をサポートしてもらい、とても助かりました。 ただ、この取組みの弱点は、2点あると考えます。 1点目、助けてほしい場合、初回時には電話連絡の後、対面による聞き取りがあること。働いている人にとっては、対面時間を割くことがハードルになると考えます。 2点目、助けたい側の人手が不足していること。認知度がハードルになっていると考えます。</p> <p><b>【課題】</b> 気軽に利用しづらい点（初回時に電話連絡と面接が必要） 協力者の数が少なく、利用者とのマッチングが難しい場合がある点。</p>	<p><b>【提案内容】</b> 依頼会員・協力会員ともに、制度利用のハードルを下げる取組をする。例えば、依頼会員の対面による面接は、オンラインも可とする。例えば、その際の所用時間はWEB会議ツールの無料利用の範囲内までとする。協力会員の子育てサポートリーダー養成講座も、オンラインも可とする。 また、サポートする側は「元気な祖父母」のイメージがありますが、本来は年齢を制限せず、ママパパと同世代の人がすることもできると思います。 現に、私の場合、ファミリーサポートセンターを通じて、同じ子ども園に通園しているお子さんがいるお母さんを紹介してもらい、子どもの通園補助をしてもらいました。 各認定こども園やSNS等、子育て世代中の人の目に留まるところにファミリーサポートの利用だけでなく協力もできる旨の広報をする。子育て世代が子育てが一段落するときに、やってみよう頭がよぎるよう、広報の対象を祖父母世代に限定しないことにはメリットがあると考えます。</p> <p><b>【実施効果】</b> 子育て環境のさらなる充実。地域住民の関係の深化。デジタルを活用することで、相互の時間節約。協力会員の間口を広げることで、人手不足の解消とともに事業を活性化させる。</p>	こども課	当該事業のサポート活動は「他人様の子を預かる」という大きな責任を伴うものであり、依頼会員と協力会員の対面による事前面接は、トラブルを未然に防ぐ上で重要な手続となっている現状を十分に考慮し、こどもの安全面に配慮したうえで、手続のオンライン化等、依頼会員と協力会員の双方が利用しやすい仕組みについて検討のこと。
3	職員に大型免許取得研修を	<p><b>【現状】</b> 大型車両を運転できるドライバー不足が社会問題となっている。 本市においても、スクールバスの運行及び給食センターの配送のため、民間業者に運転手の確保に苦慮いただいている。</p> <p><b>【課題】</b> 大型車両を運転できるドライバー不足</p>	<p><b>【提案内容】</b> 民間業者には運賃の発生する市営バスやちょいソコの業務に専念いただき、スクールバス等の運行を市職員でまかなえる体制作りが必要となってくる。 そのため、職員に大型免許取得させる研修を受けさせることを提案するもの。 あわせて、専門職とするのではなく、兼務をかけるなどし当番制を導入。</p> <p><b>【実施効果】</b> スクールバスや学校給食配送トラック運転手の安定的な確保。スクールバスダイヤの弾力的運用が可能となる。</p>	総務課	担当課において委託又はハローワーク等により運転手の確保に努めるよう対応いただくとともに、スクールバス等の大型車両運転業務を直営とすることについて、他自治体の事例を調査研究のこと。

# 令和7年度職員提案検討報告書

## 2 引き続き検討するもの 16件

1 実施に向け取り組むもの	6件
2 引き続き検討するもの	16件
3 実施済み又は実施しないもの	10件
計30件	

資料5－3

No.	提案項目	現状・課題	提案内容・実施効果	検討・対応課	評価の理由等
4	砺波駅での図書館資料の返却をもっと便利に！	<p><b>【現状】</b> 砺波駅には砺波市立図書館の資料を返却することができる返却ポストがある。だが、返却されているか否かは、設置されている観光案内所の職員が確認し、図書館から職員が資料を回収に赴き、返却手続きを行わなければならない。観光案内所の職員が不在だったり、図書館の休館日が重なると数日間返却資料の所在を確認できず、「数日前に駅に返したのに返却されていない」と年に数例ではあるが利用者から申し出があることがあり、現状では連絡があれば原則その日のうちに対応している。現時点での駅の返却ポストの利用は月に数件である。製本された資料（本や雑誌）しか返却することができない（紙芝居やCDなどの破損しやすいものはできない）。</p> <p><b>【課題】</b> 駅のポストを利用した返却は利用数が少ないが、人手が必要である（本の確認や図書館に連絡する観光協会の職員、駅に資料を回収に行く図書館職員）。返した利用者が図書館に本を借りに来ることもある。トラブルを避けるために職員が回収に行くが、土日だと図書館自体の利用者対応があり、駅に行くことは業務の負担になっている。また、駅のポストは返却しかできないうえに、返却できる資料等も本や雑誌に限られる。</p>	<p><b>【提案内容】</b> ロッカーを設置し、返却以外のサービス（貸出）も可能なようになる。返却ポストもICタグ読み取り可能なものにし、返却されれば直ちに返却処理が可能にする。県内他自治体でもマイナンバーカードを利用したロッカーで資料の受け取りをしている事例もある。</p> <p><b>【実施効果】</b> 貸出口ロッカーを砺波駅に設置することで駅利用者が通勤通学時（図書館が利用できない時間）でも図書館資料の受取が可能になり利便性が向上する。簡易的な返却処理を砺波駅のポストで行うことにより、図書館の業務に余裕のある時間帯に回収することができる。マイナンバーカードを利用する仕組みとした場合は、マイナンバーカードの利用促進やデジタル化を進めることも可能になる。</p>	砺波図書館	砺波駅における資料返却の実態や貸出等のサービスの需要等を調査のうえ、費用対効果も考慮し、当該設備の必要性について検討のこと。
5	ひとめでわかる！市イベントナビ	<p><b>【現状】</b> 市での開催イベントのまとめた記載がなく、わかりにくい。</p> <p><b>【課題】</b> 各課のイベントを知るには、文書共有管理の各課の行事予定表を開く必要があり、不便である。</p>	<p><b>【提案内容】</b> 市HP上にイベントカレンダーを掲載。可能であれば、ホームページ作成時に希望することで、イベントカレンダーに自動で反映される仕組みを導入する。 または、イベントカレンダーに掲載を希望する担当者が、自ら入力・作成できるようなシステムとする。参考：魚津市HPイベントカレンダー</p> <p><b>【実施効果】</b> 職員も市民も、市が開催するイベントや講座の情報を一目で把握できるようになり、イベントの重複開催を防ぐことができ、周知の強化により集客の向上も期待される。</p>	企画政策課 DX推進課	市が行う事業について、市民等が容易に確認できる仕組みについて検討のこと。 ホームページ更新時にイベントカレンダーだけでなく、マップなど各課が求める機能について確認のうえ対応いただきたい。
その他11件（市役所内部の事務改善提案等）					